

草薙キャンパス近隣地域の 未就学児・小学校1・2年生に英語経験を提供 —常葉大学 英米語学科 学生の 英語活動実践を通じた地域貢献—

4 質の高い教育を
みんなに



キーワード

地域・子ども・英語

○取り組んだきっかけ

2020年より、小学校3年生から外国語活動が始まりました。保護者の英語への関心は高まり、子供にやらせたい習い事の調査では、英語が最上位となる結果も見られるようになりました。一方で経済格差は広がる一方という調査結果も出ており、子供に英語の習い事などを通し、3年生になるまでに英語の経験をさせたくてもできない家庭もあるという現状があります。

○活動の目的

この活動は、常葉大学草薙キャンパスの近隣地域(静岡市葵区3校・駿河区3校・清水区2校)の小学校1、2年生や未就学児を対象とし、常葉大学の体育館や近隣のこども園にて英語活動を行うことにより、子供たちに英語に触れる経験を提供することを目的としています。また同時に、学生が実際に子供達と触れ合いながら英語活動を行うことにより、学生が実践的な経験を積むことができることからwin winの活動となります。

○具体的な内容

2024年度前期の「キッズ・コミュニケーション」の授業は、26名の学生が履修をしており、子供への英語教授法の取得を目的として勉強しています。その実践として、草薙キャンパスの近隣地域の子供達を対象に、英語活動を行いました。

2024年度の第1回目(6月8日)は、常葉大学草薙キャンパスの大体育館に、近隣の小学生(1、2年生)約30名、保護者約30名、合わせて約60名を招いて行いました。“Wolf(だるまさんがころんだの英語バージョンのようなゲーム)”や“Alphabet relay(英単語を集めてくるリレー)”、“Item Tag(英語でオニごっこ)”、“Big-Game Hunting(英語で猛獣狩りへ行こうよ)”、“Rock Paper Scissors Train(英語でじゃんけん列車)”を行いました。



第2回目の活動は、5月30日・6月6日・6月13日に、近隣のこども園の年長児15名を対象に英語活動を行いました。こちらでは、英語絵本の読み聞かせ(『Dear Zoo』という英語の大型絵本)、英語の手遊び(『Finger Family』)、英語で体操(『Head Shoulders Knees and Toes』や『BINGO』)、英語のゲーム(英語で『フルーツバスケット』)を行いました。



3回目は、7月13日に、常葉大学草薙キャンパス大体育館で、近隣の小学生(1、2年生)と保護者約40名を招き英語活動を行いました。活動は、“Word Relay(単語を取ってくるリレー)”、“How Daruma-san spends his summer vacation(だるまさんが転んだ英語バージョン)”、“Shopping game(英語でお買い物ごっこ)”、“Color Tag(英語で色オニ)”、“Rock Paper Scissors Train(英語でじゃんけん列車)”を行いました。6月の活動でもそうでしたが、最後のじゃんけん列車では、保護者や学生も入り、楽しく終わることができました。

また、この時には、既にこども園において、未就学児を対象とした活動を行っていたことから、参加した小学生の兄弟・姉妹の未就学児約5名に対して、英語の大型絵本の読み聞かせ活動も行いました。

活動に参加した保護者からは、英語のゲームで使ったフレーズを家でも口ずさんでいたというコメントなどをいただき、こども園の先生からは、活動で歌った歌を園でも繰り返し歌っているというお話を頂きました。



○期待される効果

この活動は、常葉大学の近隣に居住する未就学児や小学校1、2年生の子供達に英語の経験を提供することにより、児童が3年生で外国語の授業が始まった際に、児童がスムーズに英語を受け入れることができるようになる効果を期待しています。同時に、保護者にも3年生の外国語活動開始に向けた安心材料の一つになることを期待します。また、学生側も英語指導実践活動を通し、英語を使って教えるという経験を積むことのほか、将来、児童や幼児に英語を教えることを仕事にしたいと考えている学生に経験の場を与えることで、就職に向けた実践経験の提供という効果もあると考えます。

今後この授業は、閉講となってしまいますが、活動自体を残す努力をしていきたいと考えております。

執筆者名 宮腰 宏美

所属 外国語学部 英米語学科

職位 講師



連携先